

CONTENTS

山下町政4期目

政策関係予算を可決……………2

道路橋りょう復旧費等を追加補正
議員4名が一般質問を行いました……………5

①上地議員 ②三條議員

③後藤議員 ④齋藤議員

議会トピックス……………13

6月定例会
7月臨時会

おおぞら
議会だより



8月4・5日にめまんべつ観光夏まつりが開催され、色鮮やかな花火やドラゴンボートで大変盛り上がりしました。



No.49

OZORA
GIKAI DAYORI

発行日 平成30年9月30日

平成30年度
各会計補正予算結果

- ・一般会計
3億5974万円追加
- ・国民健康保険事業特別会計
1494万円追加
- ・介護サービス事業勘定特別会計
21万円追加
- ・簡易水道事業特別会計
709万円追加
- ・下水道事業特別会計
514万円減額

一般会計 3億 5974万円補正

平成30年
6月定例会
6月19日・20日

4月に再選を果たした山下町長から所信表明が行われ、

- ①情報の共有、町民参加、町民・議会・行政の協働を基本原則
- ②子育て、教育、学力、体力、経済、施設など子どもたちにとつ
- ③農業基盤の強化、起業化の促進、人材の育成と雇用の確保、旅行者・
- ④安心な生活には自助、共助に加え公助が不可欠です。町民皆

政策の4つの柱は次のとおりです。

とし各々の立場を尊重し、成熟した社会の形成を目指します。
て必要なものは何かを考え、将来の夢の実現を応援します。
交流人口の誘致を進め、地域で経済循環する元気な仕組みをつくりま
様の取り組みを助長し、一体となった活動を展開していきます。

注目の政策事業！



政策関係予算とは？
首長選挙がある場合に、選挙後の議会へ首長の意向を反映させ
た事業などの必要な政策的経費を追加補正する予算のことを「政
策関係予算」といいます。一方で介護・医療関係費や人件費など
の義務的経費を中心に当初予算で組まれるものを「骨格予算」と
いいます。



お墓の管理の不安解消と永代供養のため、合同納骨塚を整備します。平成31年4月から供用開始となります。

合同納骨塚整備
637万円



超高速ブロードバンドによるインターネット
インターネット利用のための超高速ブロードバンドサービス未提供地域について、町民需要調査の結果を踏まえ町内の情報通信格差解消に向けた整備手法を検討します。

地域情報通信基盤整備
1633万円



東藻琴児童クラブ建設工事の様子

東藻琴小学校敷地内の体育館に併設して、東藻琴児童クラブを建設します。工期は平成30年12月17日となっています。

東藻琴児童クラブ整備
1億5407万円



女満別公園地区定住団地整備工事の様子

持ち家を希望する町民や近隣市町などからの移住希望者のニーズに応えるため、分譲用の宅地を女満別公園地区に造成し住みやすい環境づくりを進めます。

公園地区定住団地整備
5251万円

山下町政4期目がスタート 政策関係予算を可決



北海道主要農作物種子条例の制定に関する要望意見書

我が国の食と農を支えてきた主要農作物種子法（以下「種子法」という。）が、本年4月1日に廃止されました。種子法は、国や都道府県に対する公的役割を明確にしたものであり、同法のもとで、稲・麦・大豆などの主要農作物の種子の生産・普及のための施策が実施され、農業には優良で安心な種子が、消費者には美味しい米など農産物が安定的に供給されてきました。

しかし、種子法の廃止により、今後、稲などの種子価格の高騰、地域条件等に適合した品種の生産・普及などの衰退が心配されています。また、地域の共有財産である「種子」を民間に委ねた場合、長期的には世界の種子市場を独占する遺伝子組換え企業が日本の種子市場を支配していく懸念も指摘されています。このことは、我が国の食の安全・安心、食料主権が脅かされることであり、国民・道民にとっても大きな問題であります。

また、種子法廃止法案の可決に当たっては、種子法が主要農作物種子の国内自給及び食料安全保障に多大な貢献をしてきたことに鑑み、優良な種子の流通確保や引き続き都道府県が種子生産等に取り組むための財政措置、特定企業による種子の独占防止などについて、万全を期すことを求める附帯決議がなされています。

よって、北海道における現行の種子生産・普及体制を生かし、本道農業の主要農作物の優良な種子の安定供給や品質確保の取り組みを後退させることなく、農業者や消費者の不安払拭のために、北海道独自の種子条例を制定するよう、次の事項を添えて強く要望します。

- 1 将来にわたって北海道の優良な種子が安定的に生産及び普及が図られ、生産者が安心して営農に取り組み、高品質な道産農作物が消費者に提供ができるよう、北海道主要農作物の種子に関する道条例を早期に制定すること。
- 2 対象農作物については、稲、麦、大豆といった北海道農業に欠かせない農作物を位置付けるとともに、条例の円滑な推進に必要な財政措置と万全な体制を構築すること。
- 3 食料主権の確保と持続可能な農業を維持する観点から、優れた道産種子の遺伝資源が国外に流出することのないよう知的財産の保護を条例に盛り込むこと。

上記の要望意見書を6月定例会において全会一致で採択し、北海道知事に対して提出しました。

一般会計補正予算

30年発生災害に係る道路橋りょう復旧費等を追加補正

～6・7月降雨災害の被害甚大 3,500万円追加～

スクールバスの購入
指名競争入札の結果、株式会社たいせつが購入金額2089万8000円で落札しました。納入

草刈等の維持管理共同活動に使われるクローラ式トラクター
指名競争入札の結果、有限会社東藻琴井戸整備が購入金額1084万4280円で落札しました。納入期限は平成30年8月31日までとなっています。



スクールバス

契約の締結
東藻琴児童クラブ建設工事
指名競争入札の結果、船橋西川・齊藤経常建設共同企業体が契約金額1億1286万円で落札しました。工期は平成30年12月17日までとなっています。

◎物品の購入

期限は2020年1月10日までとなっています。

7月臨時会にて6・7月降雨災害による道路橋りょう等の災害復旧費3500万円を追加補正し、また、次の物品の購入及び工事請負契約の締結について審議・可決を行いました。

7月臨時会

(7月20日開催)

◎物品の購入

塵芥収集車の購入
指名競争入札の結果、株式会社オート南部が購入金額1590万8400



除雪トラック

新規水源調査設計委託料
660万円
三條議員

住民課長
アンケート調査で色々な事業に活用したいとの声もあり、先進地の状況も踏まえ一般の通信に限らず、他の事業にも反映できるように検討します。

0円で落札しました。納入期限は平成31年3月15日までとなっています。

除雪トラックの購入
指名競争入札の結果、東北海道日野自動車株式会社北見支店が購入金額4773万6000円で落札しました。納入期限は平成31年3月22日までとなっています。

住民課長
アンケート調査で色々な事業に活用したいとの声もあり、先進地の状況も踏まえ一般の通信に限らず、他の事業にも反映できるように検討します。

町営住宅維持補修事業
838万円
松田副議長

総務課長
アンケート調査で色々な事業に活用したいとの声もあり、先進地の状況も踏まえ一般の通信に限らず、他の事業にも反映できるように検討します。

町営住宅維持補修
事業の修繕費は、カビや結露対策のための補正予算の計上か。

住民課長
町営住宅の管理戸数は560戸あり、築年数も相当経過している住宅もあります。近年、寒さや結露などの苦情が多く寄せられています。断熱、断熱、結露、防カビ対策として補正予算を計上しています。特に、平成5年に建設の「あけぼの団地」の12戸は、強制換気システムがないため、ファン式の換気扇を取り付けし、結露対策として防湿・断熱塗装を行っています。

建設課長
調査箇所は、東藻琴芝桜公園から藻琴山に向かって約3キロ離れた東洋川で湧水量調査を行っています。水量が確保された場合、最短期間の工事着手が平成34年約40キロの管路整備が最低でも3年程度は必要と考えています。

結露・防カビ対策
の補修は、転居し

用していただきたいと思います。

ひがしもこと乳酪館管理費
294万円
品田議員

乳酪館の改修は、
どの程度を考えているのか。
建築から22年が経過し、屋根や外壁、冷暖房設備などの老朽化が著しいため、これらの痛み具合を調査し、改修する箇所を決めることにしています。



ひがしもこと乳酪館

商店街にぎわいづくり事業補助金
135万円
品田議員

地域によっては、
携帯電話の不感地帯があることから、今回の事業で携帯電話の通信環境対策も合わせて考えていただきたい。

地域情報通信基盤整備推進事業
1633万円
原本議員

築37年以上経過し、
今回壁の一部を補修することだが、他の壁も同様に劣化しているところはないのか。
今回の補修工事の箇所は、北東側の壁で東藻琴総合支所前になります。他の壁については、今のところ異常はありません。

農村環境改善センター管理費
196万円
上地議員

農工会から要請の
あったもので、各種イベントに使用する「のぼり」や「提灯」などの購入費用を補助するものです。

らの要望か。また、その補助の内容はどの様なものか。

分譲地造成事業
5251万円
品田議員

公園内に遊具の設置は
考えていないのか。
今回の分譲地周辺への遊具の設置は考えていません。近くに遊具のある公園もあることから、既存の公園を利

不採択の方も事業が
今年度で終了となることから予算を補正し補助の対象とするとのことだが、今後モリフォーム事業を実施する考えはあるのか。
住宅リフォーム事業については、補助要綱により平成26年度から実施し30年度で終了することになっています。総合戦略に位置づけられている事業でもあることから、これまでの利用状況などを踏まえ今後検討します。

住宅リフォーム促進事業
補助金263万円
上地議員

林業大学校を誘致する目的は

町長▶町の森林資源を有効活用できる

問 道は2020年度の開校を目指し、道立林業大学校基本構想を策定しました。就学年限を2年に設定し即戦力を育成することを目的としています。これまで13地域が誘致に名乗りを上げ、設置場所は要請があった地域との意見交換をもとに決定します。大空町の所属する網走東部流域誘致期成会はどのように協議を進めているのか。

町長 道内一の木材生産額で造林・造材やバイオマス発電、大規模な合板工場のあるオホーツク管内の網走西部・東部流域の18市町村において、互いに力を合わせ、林業の先進的な人材育成の場を提案できる適地と考えてオホーツク林業大学校誘致協議懇話会を本年2月に設立しました。当地域としても5月24

問 オホーツクに誘致が実現した場合、大空町にどのような影響があるのか。

町長 本校は津別・滝上、それ以外の市町村はサテライトとしての施設利用を考えています。大空町には町有林が1430ヘクタールあり、また、現在、国との共同活用を計画している網走刑務所住吉作業所には、約500ヘクタールという森林資源があります。これらを活用した研修と実習の受け入れも可能と考えています。

問 団塊世代が75歳以上になり、後期高齢者の方が急増する「2025年問題」に備えるため、介護の担い手を増やす必要があります。道は2025年に要支援・要介護者が平成17年度比、7万4千人増の39万5千人に増えるため、介護職員も2万5千人多い11万7千人が必要になるとの推計をまとめました。

町長 国や自治体は介護職員不足の解消に全力を挙げているが、我が町はどうか。

松川 参事 第7期大空町高齢者保健福祉・介護保険事業計画の中で、2

問 025年度は要支援者181人、要介護者348人、介護認定者数の合計は529人と現状よりも増加するものと推計されています。今後、さらに介護職員が必要になると思われます。

町長 要支援、要介護者が増加する中、今後も同じようなサービスを維持していくことは可能なのか。

町長 法人すべてに介護従事者の確保に、町にとっても重要な課題と認識しています。介護従事者の確保を支援するために、町内に居住される方は、

問 転居費用、住宅準備金、継続就業補助金を交付しています。その他に介護員養成初任者研修の受講助成も行っていきます。就業支援事業については8人のうち5人が既に退職され、人材を定着化させていくことも重要と考えています。その他に両福祉会が合併することにより、福祉サービスの向上など様々な効果が期待できると考えています。

今後町としては適切な支援の中で両福祉会にご理解をいただきたいと考えております。

今後も福祉サービスを維持できるか

町長▶今後も人材確保の支援を行いたい

我が町政を問う 一般質問

6月定例会では4人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。なお、全文記録(議事録)は、後日図書館にて閲覧または町議会ホームページに掲載していますのでそちらをご覧ください。

- 【上地 史隆】**
 1. 林業大学校の誘致について
 2. 要支援、要介護者の方を今後もささえていくためには
- 【三條 幸夫】**
 1. 商工業振興対策について
 2. 企業誘致活動と誘致企業の実態について
 3. 通園・通学路の現状と安全対策について
- 【後藤 忍】**
 1. 広域穀類乾燥調製貯蔵施設について
 2. 高齢者等の医療機関への交通アクセスについて
- 【齋藤 宏司】**
 1. 高速情報通信網の整備について



議会インターネット中継・録画映像のお知らせ
議会の情報公開を進めるため、審議状況をインターネット上でライブ映像、録画映像を配信しています。傍聴に行けない方など、ご家庭のパソコン、スマートフォン、タブレット等でご覧いただけます。



うえち ふみたか 上地史隆 議員

次回も頑張りますので、ご指導よろしくお願いたします。

商店街の現状認識と対策は

町長 ▼ 店舗継承などの仕組みづくりが必要



さんじょうゆき お 三條幸夫 議員

初めての定例議会、緊張しながら質問させていただきました。これからも、少しでも課題が解決出来るよう頑張りますので、ご指導よろしくをお願いします。

問 市街地の商業の現状をどのように認識されているのか。また、にぎわいのある市街地を形成していくうえで近々の課題があると思うが、大空町としてどのような方針を持って進めているのか伺いたい。

市街地の商業の現状をどのように認識されているのか。また、にぎわいのある市街地を形成していくうえで近々の課題があると思うが、大空町としてどのような方針を持って進めているのか伺いたい。

町長 市街地における商業の現状は、小規模個人経営が主体であり、後継者不足による閉店や町外への消費流出などにより、商業機能が低下している認識をしています。対策として各種助成や地元消費の拡大につながる事業に対し支援を行っ

ています。市街地における商業の現状は、小規模個人経営が主体であり、後継者不足による閉店や町外への消費流出などにより、商業機能が低下している認識をしています。対策として各種助成や地元消費の拡大につながる事業に対し支援を行っ



女満別西通りの様子

問 商店街対策は、長年にわたり調査・研究を行い、現在も各種対策を講じていることも理解するが、町がもっと前面に出て強固に対策を講じ、市街地の将来に向

ています。市街地における商業の現状は、小規模個人経営が主体であり、後継者不足による閉店や町外への消費流出などにより、商業機能が低下している認識をしています。対策として各種助成や地元消費の拡大につながる事業に対し支援を行っ

町長 商店街の活性化については、様々な計画を立てておりますが、実行に移せず今日を迎えています。今のところハード面について第一番目に考える時期ではないと受け止めています。まずは、空港線を通行する車両や町内の方々のいかに

けた土地利用構想をしつかり立てることが必要ではないか。また、高齢者の方は、車の免許の返納などにより買い物の対応が難しい状況となっている。特に東藻琴地区においては深刻であり、対策を講ずる必要があると思うが。

問 買い物弱者の対策として、患者輸送バスや福祉バスなどの機能を有機的に活用し、大空町内で買い物バスを走らせることは検討できないか。

誘致企業には企業振興促進条例により、事業所の設置や設備投資などに補助金を交付し、企業の安定した経営や生産性の向上に向けた支援を行っています。

町長 最初から制度設計をして取り組むというよりは、試行や検証を行うことで、どの程度の需要があるかを見極める段階に進むことができれば、今後考える必要があるものと思います。

問 企業誘致については、他町村を見ても成功している例もあることから、前向きに取り組むこと、誘致企業との連携も必要になると思うが。

問 町長の企業訪問や誘致企業に対する大空町の支援などについて伺いたい。

町長 地域の雇用も考え、その受け皿となる企業誘致についても努力してまいります。誘致企業はともすれば、誘致するときはまだ一生懸命であったとしても、そのあともしない、そう言われかねませので、この地で長く生産活動をしていただくためにも、良好な関係を築いてまいりたいと思います。

町長 企業誘致は、事業所訪問や企業の方とお会いする様々な機会を活用し、地域の特性や空港が所在するという優位な立地条件を紹介しながら、意見交換を行っています。

町長 建設課を中心に施設面の点検を行っており、また、通学路の安全対策として巡視も行われておりますが、いろんな方々の視点ということで、場合によっては警察の関係者、道路の設置管理者、教育の関係者が一緒になって対策に取り組むことも必要ではないかと考えます。

通園・通学路の現状認識は

教育長 ▶ 通学路の事故防止は重要

問 通園・通学路の現状の認識と、交通・環境・防犯対策などの具体的な対策について伺いたい。



学校までの通学路の様子

教育長 通学中の事故防止対策は、最重要事項であると認識しています。町内の危険箇所を調査・把握し、防犯マップを児童・生徒に配布するなど、子どもたちへの注意喚起や犯罪抑止の取り組み、また、不審者警戒巡視として児童生徒の下校時における見守り活動を、関係機関の連携により継続して実施しているところでです。

問 現状の防犯対策に満足せず、時間帯や草木の繁茂などで環境が変化することも認識し、対策を講ずることも必要と思うが。

町長 本町には、交通安全防犯推進委員会があり、交通安全、防犯、そして暴力追放に関する三つの事業を実施しています。平成25年に暴力団排除条例を制定し警察署と協力協定を結んでいます。また、不審者警戒巡視、夏場・歳末期における夜間の自主パトロール、子ども110番の家の登録、新入学児童への防犯

町長 建設課を中心に施設面の点検を行っており、また、通学路の安全対策として巡視も行われておりますが、いろんな方々の視点ということで、場合によっては警察の関係者、道路の設置管理者、教育の関係者が一緒になって対策に取り組むことも必要ではないかと考えます。

ビーンズファクトリーへの町としての役割は

町長 ▼ 町の施設なので色々な事にチャレンジしたい



ごとう しのぶ 議員

初めての一般質問でとても緊張しました。より良い大空町になるために、一生懸命取り組みます。ご指導よろしくお願い致します

問 6月11日、大空町が事業主体のオホーツクビーンズファクトリーの竣工式が行われ、農業者の方にとっては待望の国内トップクラスの施設が完成しました。また、町民の皆様にとっても女満別空港に並ぶ町の新しいシンボルになるものと考えます。今後、大空町として関係職員の定住と地元雇用対策について、どの様な取り組みを考えているのか伺いたい。

町内からの雇用を予定しているとのこと。定住については、操業当初は美幌町からの通いが中心となりますが、将来的には町内に住んでいただけるように働きかけを行っていきます。

問 6次産業化への取り組みについて伺いたい。

町長 6次産業化については、豆類を使用した新商品の開発や生産から販売まで新たな産業を創出するために、引き続き地場産品開発セミナーを開催してまいります。また、単に外から企業誘

致をするばかりではなく、今回の施設を契機に地域の方々が6次産業化に一歩踏み出し、地域の産業の層を厚くしていければと考えます。

問 関連する企業誘致について、どのように関わり、まちづくりに活かす展望を抱いているのか伺いたい。

町長 企業誘致については、この施設にオホーツクの豆が集約され、均一でレベルの高い製品が全国に発信されます。その製品を大手の実需者だけでなく、中小企業の方々にも販売できる仕組



6月に完成したビーンズファクトリー

高齢者等の医療機関への交通アクセスについて

町長 ▶ 移動手段について制度設計に向けて努力したい

町長 町内の移動については、移動支援事業により、ある程度交通手段が確保されていますが、町外への移動は大変ご苦労されていると思います。今後、町外における移動を町として支援していくかということも含めて、次の大きな課題ではないかと考えますので、

問 高齢者等の医療機関等への交通アクセスについてですが、基幹病院から紹介を受け、もしくは基幹病院にない診療科目や専門医療を受診するために、網走市の二次医療機関や北見市の三次医療機関に乗用車の運転に不安を抱きながら受診する高齢者の方、または体の不自由な方もおられます。通院によるがん治療などで医療環境が変化し、高齢者ドライバーの免許返納の機会は、ますます増加すると思われます。高齢者等の医療機関へのアクセスについて、どのように考えているのか伺いたい。

町長 町内の移動については、移動支援事業により、ある程度交通手段が確保されていますが、町外への移動は大変ご苦労されていると思います。今後、町外における移動を町として支援していくかということも含めて、次の大きな課題ではないかと考えますので、

問 高齢者の方々は、大空町から特に、三次医療機関がある北見市への交通アクセスが不便なようです。バスの場合では美幌駅で乗り換えしなければならぬ、JRの場合は北見駅で渡り階段を渡らなければならないなど、高齢者の方には大変通院しづらい状況にあるようです。



石北線を走る普通列車 (西女満別駅)

町長 町に定住していた、だくというところでは、いろいろなマイナスイ面や脆弱な部分があります。医療であったり、

町長 三次医療圏の北見市の病院に通院する場合なかなか苦労されている、きつと町民の方々の率直なご意見だと思います。町としてもバス事業者に補助金などを出したり、いろんなチャネルがありますので、しっかりと要望はさせていただきます。また、福祉課や住民福祉課の職員が、相談業務の中で交通アクセスに関する情報について提供できるように配慮したいと考えます。町外への移動手段について、今後の施策の制度設計に向け努力してまいります。

町長 町に定住していた、だくというところでは、いろいろなマイナスイ面や脆弱な部分があります。医療であったり、

消費の問題であったり、それから今回の交通の問題もあります。これらを少しでも底上げをしながら、町民の皆様にご不便を感じさせないということが、定住の一つの条件ではないかと考えますので、そのような側面からも取り組んでまいります。



網走～美幌間の路線バス

議会 トピックス



両地区の慰霊祭に参加しました

7月7日に東藻琴地区殉公者慰霊祭、8月15日に女満別地区戦没者平和祈念祭が行われ、各議員が参加しました。



姉妹都市・稲城市議会来町!

7月31日・8月1日に稲城市議会の公明党の皆さんが来町されました。新しい道の駅「ノンキーランドひがしもこと」を見学し宿泊されました。



網走郡下三町議会議員政策能力向上セミナーを開催!

8月28日に大空町議会・美幌町議会・津別町議会合同による政策能力向上セミナーを開催し、各議員が参加しました。



議会だよりへのご意見・ご要望をお待ちしております!

議会だよりは、5人の議会広報常任委員会委員の手で、読みやすい議会だよりを目指し自らの手で編集を行っています。皆様のご意見などを、ぜひお寄せください。

高速情報通信網の整備の方法は

町長 ▼ 光ではなく、無線基地局を整備し、平成32年度の供用開始を目指す

問 インターネットは、情報化社会の進展に伴い、全世界のあらゆる局面で活用されています。情報通信網の発達により、都市と地方の情報格差がなくなり、いつでもどこでも必要な情報が得られ、毎日の生活になくてはならないものになりました。しかしながら、町内の農村部においては、データ通信量が急激に増大する中、通信速度が遅く情報通信ニーズが満たされていない状況となっています。町内のどの地域に住んでも快適な高速情報通信網があってもほしいと願うところですが、情報格差の解消に向けた



高速ブロードバンドによるインターネット

町長 女満別市街地と東藻琴市街地には光通信網が整備されていますが、中心部から離れるほど人口密度が低いこと

や面積が広大であることから設備投資が大きくなり、採算性が低くなるため、民間通信事業者による整備が行き届かず、農村部で情報格差が発生している状況にあります。今年1月から3月に高速ブロードバンドの未整備地域を対象に、現状把握と需要のアンケート調査を実施しました。調査結果からも日常生活においてインターネットの利用が欠かせないものとなっており、情報通信基盤の整備への期待や関心が高くなっています。

安定的に情報通信サービスを提供し、かつ町民負担を抑え、さらに情報通信技術の環境変化にも柔軟に対応していくことを考えた場合、光通信網の整備ではなく、実現可能な方法として無線技術を活用し、幾つかの基地局を整備することによって、大容量の情報を安定的に無線により通信することが可能ではないかと考えています。また、民間通信事業者による整備は採算性の問題から望めないため、町が施設を整備し、運営や経営は民間事業者が行う公設民営方式で事業推進を検討していきたいと考えます。

高速ブロードバンドとは

高速で大容量のデータ通信ができるインターネット接続サービスのこと。

通信速度の影響を把握し、事業費や補助事業等の財源確保の見通しがつけば、平成31年度に整備し、32年度の供用開始を目指したいと考えます。



さいとうひろし 齋藤宏司 議員

今回の改選で4期目になりました。さらに磨きをかけ初心を忘れず邁進します。

Voice 町民の声

子どもたちの 憩いの場所として



山田伸一さん
(めちゃいるど館所長)

38年間の教職生活(主に中学校勤務)を終え、4月より現在の仕事をさせていただいております。毎日、活気に満ちた純粹素朴な子どもたちから元気ももらってます。今や、夫婦共稼ぎで家族を支え合うのは普通なので、児童の放課後の居所としての公共施設は重要です。そもそも、学校は教科学習を主とした学びの場であるのに対し、当館は遊びの

場であり、全学年が交流できる憩いの場でもあります。心身を開放できる心地良さがあります。めちゃいるど館は、今後もますますその存在意義が高まるとともに、子どもたちの健やかな成長の一助となるよう児童センターとしての役割をしっかりと果たせるよう尽力致します。



大空八景にもなった空港近くのひまわり畑の写真です。きれいですね～(後藤撮影)

道の駅
ノンキーランド
ひがしもこと

おかげさまで1周年!

営業時間

- 売店 [あえ〜る] ● 9:00～18:00
- レストラン [くるりんく] ● 11:00～15:00 (オーダーストップ14:00)
- 17:00～21:00 (オーダーストップ20:00)
- ホテル [ひがしもこと] ● チェックイン/15:00～ ● チェックアウト/10:00まで

〒099-3244 北海道網走郡大空町東藻琴100番地
TEL 0152-66-3600 FAX 0152-66-3340

※民間事業者からの有料広告を掲載しています。

編集後記

秋になり、皆様はいかにお過ごしでしょうか。読書、収穫、食欲の秋など色々な秋を楽しまれているのではないのでしょうか。

この時期になりますとサケが故郷を目指し帰ってきます。アイヌの人はサケをカムイチエブ(神の魚)と呼び大切にしてきました。何かを思い、尊敬することは大切なことです。私達、広報委員も、皆様の思い、意見を大切に、これからも頑張ります。まいりますので、ご指導いただきますようお願いいたします。(上地)

議会広報常任委員会

私たちが編集しました

- 議長 近藤哲雄(発行責任者)
- 委員 長 深川 昇
- 副委員長 上地史隆
- 委員 田中裕之
- 委員 三條幸夫
- 委員 後藤 忍

今後ともよろしくお願いたします。



UD FONT
議会だより「おおぞら」
第49号

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

発行/大空町議会
編集/議会広報常任委員会
印刷/株式会社須田製版

住所/〒099-2392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号
TEL(0152)74-2111 FAX(0152)74-2191
ホームページ http://www.town.ozora.hokkaido.jp